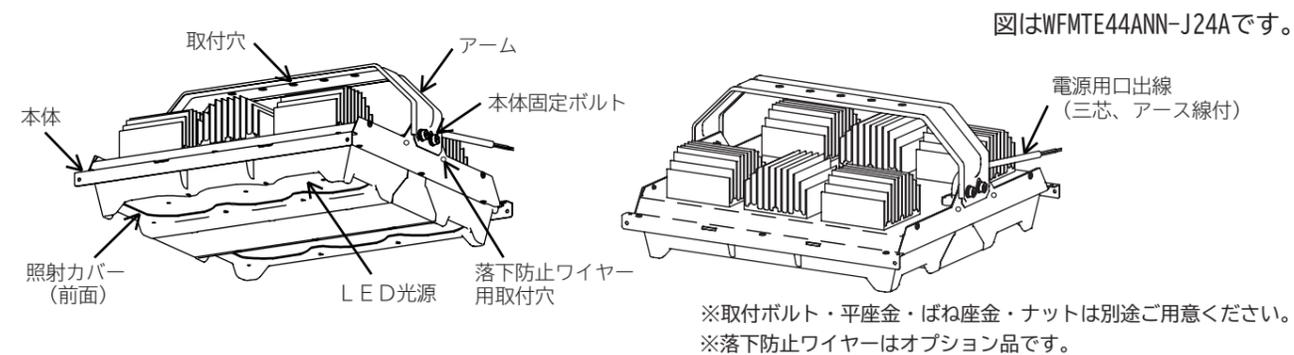


## 2. 各部の名前



## 3. 取り付けかた

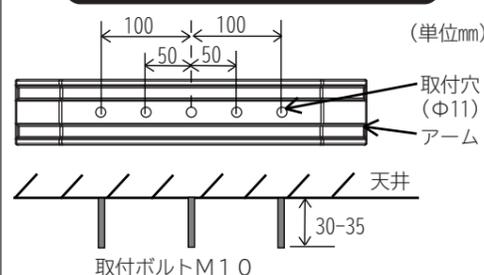
### 1. 取り付け前に確認する。

- 取付ボルトは器具質量(表1)に十分耐える強度のある天井面に設けてください。
- 取付ボルト3本以上を取付穴中心に対して均等に設けてください。
- 取付ボルトの寸法は取付ボルト施工寸法(図1)を参照してください。

表1 器具質量

形式	質量
WF(X)MTE44ANN-J24A	8.3kg
WF(X)MTE44AMN-J24A	8.1kg
WF(X)MTE28ANN-J24A	7.0kg
WF(X)MTE28AMN-J24A	6.9kg

図1 取付ボルト施工寸法

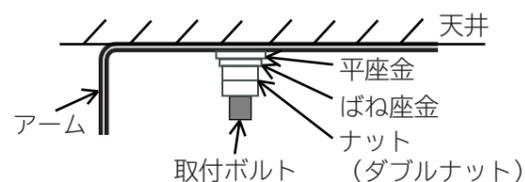


⚠注意 取付ボルトは3本以上

### 2. 器具を取り付ける。

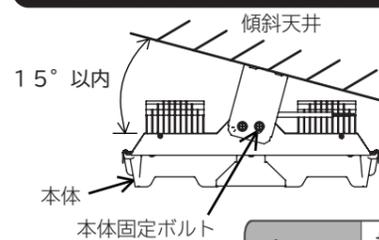
- 安全上、二人以上で作業を行ってください。
- 取付ボルトを取付穴に通し、平座金・ばね座金・ナットを用いて、緩みのないように確実に固定してください(図2)。ナットはダブルナットで締め付けてください(推奨締め付トルク25N・m)。
- 傾斜天井に取り付ける場合、傾斜角度15°以内の天井に取り付けてください。本体が必ず水平になるように調整し、本体固定ボルトで確実に固定してください(推奨締め付トルク15N・m)(図3)。

図2 器具取付



⚠注意 推奨締め付トルク25N・m

図3 傾斜天井に取り付ける場合



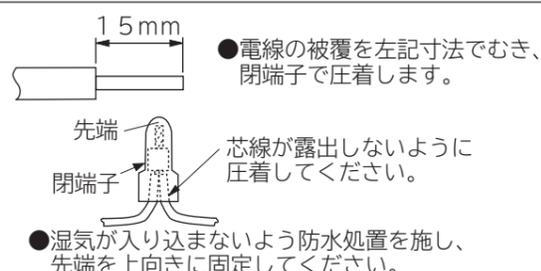
⚠注意 本体を水平に

⚠注意 推奨締め付トルク15N・m

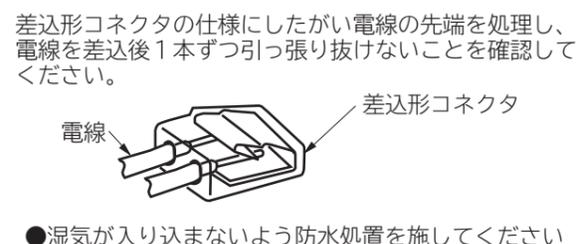
### 3. 電源用口出線を電源線、アース線に接続する。

- 電源線は600Vビニルキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。
- 電気設備の技術基準に従い、電源用口出線(黒・白)を確実に接続してください。接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。
- アース線(赤)を使用して、D種(第3種)接地工事を確実に行ってください。工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 接続部は付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をし、保護テープを巻いてください。接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電・感電の原因となります(図4)。

閉端子による接続



差込形コネクタによる接続



## ⚠注意

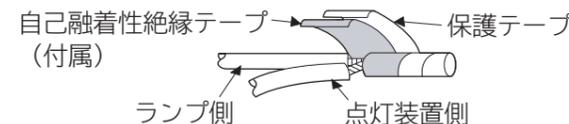
- 手より結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。



手より結線のイメージ(悪い結線例)

図4 防水絶縁処理

- 電源線接続部は付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をし保護テープを巻いてください。防水絶縁処理は接続部のみでなく、シース(外被)部も含めて行ってください。



⚠注意 接続・絶縁処理に不備があると火災・感電の原因となります。

### 4. 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認してください。

### 5. 正常に点灯するか確認してください。

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 1. 安全上のご注意(必ずお守りください)

### ⚠警告



- 器具を改造しない。火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。火災の原因となります。
- 防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じん等、引火する可能性のある場所では使用しない。火災・爆発の原因となります。



- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因となります。

### ⚠注意



- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。故障や火災の原因となります。
- LED光源を直視しない。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 照射カバーを破損したままで使用しない。性能を保てないことや照射カバーの落下によるけがの原因となります。
- 油類、薬品等が付着する場所では使用しない。樹脂等の劣化により、器具故障の原因となります。
- 振動や衝撃のある場所や、強風が直接あたる場所では使用しない。器具破損によるけが・過熱の原因となります。
- 直接雨が降りかかる場所、塩素を使用している屋内プールでは使用しない。器具破損の原因となります。
- 腐食性ガス・可燃性ガスの生じる場所では使用しない。器具破損の原因となります。



- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。(使用条件は周囲温度30℃です。)
- 冬季等、長時間使用しない施設では湿気対策として定期的に通電する。周囲の湿気により絶縁が低下し漏電による感電の原因となります。

## ご使用上の注意

- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあるため、同一製品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。また、同一器具内でもLED素子のバラツキによる発光色のムラ、明るさのムラが生じることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては明るさのムラが発生することがあります。
- 器具一体型のため、LED光源は交換できません。交換の際は器具ごと交換してください。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 塩害対応機種(形式WXMT E\*\*A\*N-J24A)は塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。器具に付着した塩分の清掃を定期的に行うことで、防食効果を高める必要があります。